

滋賀県がん診療連携協議会・第12回地域連携部会議事概要

日 時 平成24年3月2日(金)午後2時~午後3時30分
場 所 大津赤十字病院 外来棟6階会議室
出席者 各部会員

1. 滋賀県5大がん地域連携パス運用状況について

・平成24年2月29日現在、滋賀県5大がん地域連携パス運用件数は拠点病院・支援病院合わせて164件運用中である。拠点病院別では、大津赤十字病院が25件、滋賀県立成人病センターが41件、市立長浜病院が30件、彦根市立病院が4件、公立甲賀病院が13件、滋賀医科大学附属病院が20件であり、支援病院別では大津市民病院が2件、草津総合病院が1件、済生会滋賀県病院が4件、長浜赤十字病院が24件、近江八幡市立総合医療センターは0件と各医療圏から報告を受けている。がん種別では胃がんが77件、大腸がんが76件、肺がんが3件、肝がんが4件、乳がんが4件運用されているが、胃がん大腸がんが運用件数を伸ばしている。医療圏域を超えて運用した場合、保険算定が不可のケースが目立っているため、今後この問題点を改善するために地域連携部会で滋賀県下一括で5大がん地域連携パスの施設基準届出手続きを行う方向で取り組んでいきたい。

2. 滋賀県進行期(胃・大腸)がんに関わる応需薬局と栄養士の関わり方について

栄養士との関わり方(どのタイミングでどのように関わっていくのか)について

・滋賀県進行期胃がん大腸がん地域連携パスでは経口抗がん剤を使用するスケジュールで作成されている。運用の流れとしては、始めに策定病院(手術担当病院)から抗がん剤を処方し、その後は地域の先生方に処方していただく=地域の応需薬局に協力いただく形で作られている。今後は5大がん全てにおいて色んなニーズに応えていただくかなんてはならない。また、栄養士との関わり方についても胃を切除後は特に、その他のがん種においても重要視していかないといけない。具体的には作業部会で話し合っていきたいが、胃・大腸・肺・肝・乳それぞれ関わり方が異なってくるために今後どのようにどのタイミングで関わるべきかを栄養士の立場からお聞かせいただきたい。

・本来は、手術を行う前から栄養のサポートを実施したいが、進行期胃がん大腸がん地域連携パスは術後のフォローが求められている。経口抗がん剤により、食事摂取不良・むかつき・下痢などの症状に対し栄養がついていかない苦しい時期にどのように栄養士として関わっていくのか、また、病院側では入院中・退院時にこの循環型パスに入った後のフォローをどのように関わるべきかを具体的に考えていきたい。栄養士会に連絡いただければ、登録している一つの医院に対して2人の栄養士(滋賀県には実在していないが、事務局が守山市にあり、ケアステーション在籍で病院経験者である栄養士)がボランティア的な動きでサポートできる。患者さんの希望に合った体制でこれまでも対応させていただいている実績もある。

- ・患者会の意見としては、がんと診断後手術をした後に、体力が消耗している状況の中で栄養士に聞ける状況ではないと実体験から率直に思う。理想はがんと診断される前から栄養指導について知り得たいが、時間もないとなればせめて術前から栄養指導を受けたい。
- ・栄養指導がいかに大切なのか再認識したが、この議論は作業部会で引き続き行いたい。
 応需薬局との連携について
- ・抗がん剤治療にあたり、患者様が応需薬局へ行ったにもかかわらずお薬が無いと結局病院に戻られるという問題に関し、患者様に少し時間があり待ってもらえるのであれば、近所の薬局にまず電話をし、お薬の在庫の確認をしてあれば薬薬連携でお薬が渡せる。また、事前にFAXがもらえるなら、来られた時に必ず揃えておくようにもできる。ただし、500ほどの応需薬局があるのですべてがうまく対応できるとは言い切れない。
- ・応需薬局全てに対し、アンケート調査を実施した。回答があったのは200件程で、進行期胃がん・大腸がんに関してスムーズに対応できるのかとの質問に、5、6件困難という答えが返ってきた。手持ちの薬剤には限度があるとの意見であった。
- ・患者様の手持ちのお薬に余裕があれば、土日またがらなければ翌日にはお渡しできる。ロックのかかったお薬であっても2～3日で届くようになっている。よって、1日2日は余裕をもって来ていただきたいと患者様には声掛けはしている。
- ・提案として、患者様にかかりつけ薬局をもっていただけたら事前に用意することは可能である。ただし、応需薬局の中でも、積極的に対応できる薬局と、難しい薬局があるので今後対応の一元化をはかっていきたい。

3. 第6回滋賀県5大がん地域連携パス研修会の報告

第6回滋賀県5大がん地域連携パス研修会の報告を滋賀県立成人病センターの鈴木孝世副院長より報告された。

- ・地域連携部会部会長の都合が良い日程と研修会の開催日時がうまく折り合わずお詫び申し上げる。参加者は80名程で、公立甲賀病院の瀬戸山博外科部長に第1部で講演していただき、第2部では5大がん地域連携パスの運用における診療所の医師側からの率直なご意見をいただいた。また、薬薬連携についても話し合わせ、診療所の先生方からも今後の地域医療についてのご指導を受けた。この内容に関してはビデオ撮影により記録が残っているため、必要であれば申し出ていただきたい。
- ・2012年1月26日に滋賀県がん診療連携協議会地域連携部会において、進行期胃がん大腸がん地域連携パスの承認を得たが、これまでにリニューアルした肺がん地域連携パスおよび肝がん地域連携パスを含め、発表会を2012年3月24日(土)に開催したいと検討している。本会議において、承認を得られれば、具体的に話を進めていきたいがいかがか。
 地域連携部会員異議がないため、2012年3月24日(土)第7回滋賀県5大がん地域連携パス研修会を開催とする。

- ・補足として、2012年3月24日は大津・湖西地域のパス研修会を開催する予定であったが、滋賀県5大がん地域連携パス研修会を発表する場として変更をさせていただいた。研修会の開催通知については早急に関係各機関に発送させていただきたく。

4. 「私のカルテ」パンフレット配布部数について

- ・「私のカルテ」パンフレット配布部数については、各拠点病院・各支援病院に1500枚ずつ発送させていただき予定で進めている。配布先については各拠点病院・各支援病院で決定していただき周知していただきたい。
- ・病院だけでなく、診療所・応需薬局等の公的な所に配布・配置していただきたい。
- ・第一弾として完成したが、更に内容などバージョンアップしていきたい。
- ・ポスターについては場所をとり大きいため、診療所に貼るスペースを設けていただかなくてはならないため取組みはしないこととする。

以上